



かみさと
 議会

6月定例会・7月臨時会
の審議状況

6月定例会一般質問に9人
議会閉会中の委員会活動報告
傍聴者アンケート結果

未来へつなぐ。



賀美小学校の屋上から・・・

80

第3回 6月 定例会

6月7日～13日



■災害対策事業を含む一般会計補正予算を可決

6月定例会は、6月7日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案・承認7件等を審議して13日に閉会しました。6月定例会で審議された内容をお知らせします。

◆ 条 例 ◆

議案第41号

上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

要旨 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

原案可決

議案第42号

上里町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について

要旨 介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

原案可決

議案第43号

上里町長の給料の特例に関する条例について

要旨 平成30年7月1日から平成34年5月10日の間、町長の給料の月額から減額率50%を実施するものです。

原案可決

◆ 補正予算 ◆

議案第46号

平成30年度上里町一般会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出それぞれ

1億2037万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ88億7467万9千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

原案可決

平成30年度 補正予算(第1号)

- ・上里サービスエリア周辺地区整備事業 144万4千円
- ・総合文化センター運営事業 134万円
- ・災害対策事業 6961万6千円
- ・教育委員会事務局運営事業 263万5千円

◆ 契 約 ◆

議案第44号
物品購入契約の締結につ
いて

要旨 町のために使用すること
を目的とした寄附を受けた
ため、図書等資料を購入し、
上里町立図書館に配架するた
め、次のとおり契約するもの
です。

1 契約の目的
平成30年度上里町立図書館
用図書等資料購入

2 契約金額
1000万円

3 契約の相手
株式会社図書館流通セン
ター

4 契約の方法
随意契約

◆ 人 事 ◆

議案第45号
監査委員の選任について

要旨 監査委員である荒井干
城氏が平成30年5月1日を

もって任期満了となったこと
に伴い、新たに小島崔氏を監
査委員として選任するもので
す。

◆ 専決処分 ◆

承認第3号
専決処分の承認を求め
ることについて

要旨 上里町税条例の一部を
改正する条例について、平成
30年6月6日に専決処分した
ので、承認を求めます。

◆ 意見書 ◆

意見書第1号
学校給食費完全無償化
の実施と制度構築を求
める意見書(案)について

◆ 決 議 ◆

決議第1号
特別養護老人ホーム整
備事業者募集の早期開
始を求める決議(案)につ
いて

同意

原案承認

原案可決

原案可決

第4回 7月 臨時会

7月3日

◆ 契 約 ◆

議案第47号
工事請負契約の締結に
ついて

要旨 上里町民体育館改修工
事を次のとおり契約するもの
です。

1 契約の目的
平成30年度上里町民体育館
改修工事

2 契約金額
1億65万6千円

3 契約の相手
株式会社塚本工務店埼玉支店

4 契約の方法
一般競争入札

◆ 人 事 ◆

議案第48号
副町長の選任について

要旨 空席となっていた副町
長に鴻巣市在住の江原洋一氏
を選任するものです。

原案可決

同意

議会録画配信を行っています!

上里町議会では、議会をより身近に感じていた
だくため、インターネットによる映像配信を行っ
ています。

Q. どうやって見るの?

A. ①スマートフォン・タブレットは
QRコードから簡単にアクセス
できます。
②上里町ホームページから上里町
議会ページへアクセスし、録画
配信をクリック。

※議会放送の視聴は無料です。ただし、視聴に対する通信料等
は、視聴者の方のご負担となります。また、配信されている
映像及び音声は、上里町議会の公式記録ではありません。

スマートフォン・タブレット
からは・・・



上記のQRコードから
アクセスできます。





植原 育雄



問 こむぎっち号の根本的改善の必要性について

答 こむぎっち号以外の新たな運行形態を進めたい

質問 1 上里町内高齢者の交通手段について

問 コミュニティバス「こむぎっち号」を根本的に改善する必要があるのではないかと。

答 来年度中には現状の「こむぎっち号」以外の方式の試行運転を行い、その翌年に試行運転の結果を分析の上、新たな運行形態を進めて行きたい。

問 高齢者の運転免許証返納後のサポートを含めた高齢者の交通手段を考える必要があるのではないかと。

答 高齢者の交通手段を確保することの重要性は、ますます高くなっており、各種支援制度と連携しながら、地域公共交通の検討を進めて参りたい。

質問 2 ウニクス上里店の出入口への定周期信号機設置について

問 ウニクス上里店や下久城方向には車両用の表示ランプ

が設置されていない。

問 県道側の信号機表示ランプが確認できにくいことから大変危険な交差点で交通事故が発生しやすい場所です。

答 信号機の設置基準には、但し書きで「地域住民及び道路利用者の意見に十分配慮するもの」とあります。信号機設置の必要性があるのではないかと。

問 地域住民の方が強く要望されている危険箇所への信号機の設置を諦めるわけにはいきませんので、平成30年2月16日付で本庄警察署長に定期信号機の設置要望書を提出しました。今後も継続して設



定周期信号機設置が望まれるウニクス上里店出入口

置の要望をしていくとともに、関係機関等と協力して、交通事故の減少を目指して努力したい。

質問 3 上里町内道路の整備について

問 上里サービスエリア下り線（五明方面）の藤木戸勝場線に接続する拡幅舗装する道路整備の進捗状況について。

答 平成30年3月に4名の地権者と用地交渉を行いました。工事につきましては、残り1名の地権者との契約後に砂利道区間を優先し施工して参りたい。

問 上里スマートインターチェンジと国道254号線を結ぶ道路（リバーサイドロード）の整備について。

答 現在、藤木戸勝場線において、県道藤岡本庄線から宮五明線までの区間の整備を行っています。この進捗状況を見ながら道路計画区域内の企業との交渉や、県道藤岡本

庄線の道路管理者の埼玉県、神流川河川管理者の国土交通省との関係協議に向けた体制作りに努めて参りたい。

問 町道108号線をJR神保原駅北口まで延長する道路の整備について。

答 町道108号線をJR神保原駅北口まで延伸する道路整備は上里町民にとって狭い駅北口の道路を通らず、駅にアクセスできる大変有効な道路と考えており、延長で320m必要な道路用地の内、約140mの土地所有者の企業の方は道路整備に御協力頂けるようですので、この道路整備を実現して参りたい。



拡幅舗装が望まれる上里サービスエリア周辺の砂利道区間



猪岡 壽

問 町の財政基盤を強化するには

答 自主財源である町税を増やす

1 道路区画線の改修について

問 交通事故を抑止する対策として、町内の小学校の通路の道路区画線を現場検証したが、ほとんどの区画線で改修工が必要だが。

答 通路路の交通安全対策として、本庄県土整備事務所内に本庄地区通路路安全検討委員会が設置され、各小・中学校に通路路の点検、調査を依頼し要望のあった危険箇所の補修、改良を実施している。直近では28年度に通路路総点検を行い、通路路整備計画を作成し、5か年計画で推進している。

区画線のうち、停止線、横断歩道、黄色のセンターラインは本庄警察署の所管だが、危険箇所の補修を早期に実施するよう要望する。外側線や白色センターライン、通路路文字は町の所管であり、通路路整備計画の該当箇所については29年度で施工完了した。

今後は補修が必要な箇所や危険な場所を選定し修繕する。

問 30年度予算で道路安全対策費として320万円計上しているが区画線改修費はどの程度なのか。

答 道路区画線改修工事は265万円計画する。

問 近隣市町の道路改修工事、区画線改修工事の予算は。

答 本庄市では交通安全対策費として2200万円、美里町355万円、神川町650万円の予算を計上している。



区画線が消えかけている横断歩道

2 町の財政基盤を強化することについて

問 上里町も人口減少と高齢社会が進んでいる。人口減少は24年から28年の5年間で520人の減少である。ところが個人町民税額は5200万円増えている。納税者数が620人増えたのが要因だ。

問 個人町民税額を増やすには納税者数を増やすことが必要だが。

答 個人町民税額を増やすには納税者となる若年層の人口を増やすことが必要だ。町では移住・定住促進のため、「定住促進奨励金交付事業」を実施している。この制度は町内に親世帯があり、平成30年4月1日以降に町内に新築住宅を建てて転入した35歳以下の方を対象に、1件10万円の奨励金を交付する制度である。

その他の取組として熊谷以北の7市町で連携して、就職支援、結婚支援、空き家活用など各種事業を実施して県北

地域への移住・定住者の増加を促進している。

問 法人税割額が減少している。要因として税率を国が減税したことであるが、これから企業数を増やすことが課題だが。

答 法人町民税の増額は企業誘致の促進が最も有効と考えている。先端企業など、住民の皆様にご理解いただける業種の誘致を検討する。

問 自主財源を増やす対策として税収以外の収入を増やすことが不可欠だが。

答 町所有の土地の公売や賃貸などを有効活用する。下水道処理場跡地の有効活用は農地法による利用制限があり、県と協議する。

ふるさと納税制度については農協と商工会と協力し、返礼品を充実させ寄附額を増やす。



高橋 勝利



問 こむぎっち号の効率的運行を

答 町民のニーズに合わせた運行は重要である

1 質問 こむぎっち号運行に関わる費用対効果について

問 町民から、空のバスが走っており無駄ではないかの声が多く寄せられています。効率的な運行をすることに

よって、お金の有効な活用をして頂きたい。年間、月別、日別にかかるお金に対し利用者数、すなわち「費用対効果」がどうなのか、お聞きします。

答 町民のニーズに合わせた運行は重要であると考え、利用者の少ないバス停については利便性の向上を図るために対応を検討していきたい。

費用対効果は、平成29年度実績では、約5426万円かかっておりますが、運賃収入では約120万円、国庫補助金約360万円、これを控除すると、収支差額は約4946万円となります。このうち8割は特別交付税で補填され、実質的な町負担は約989万円となり、12ヶ月で割ると月別約82万円、年間運

行日数308日で割ると日別で約3万円となります。年間利用者数は、1万5454人であったため、利用者1人当たりの負担は989万円を利

用者数で割った640円になります。この640円が他の運行形態と比べどうかは今後検討していきたい。

2 質問 中学校の部活動の実態について

問 スポーツ立国調査会は、中学校の部活動を廃止し、地域スポーツと一体化する、この様な提言がされていますが、教育長はどこまで把握しているのかお聞きします。

答 教育長 町の対応は、現状を維持し、部活動を中心とした取り組みを継続していきたいと考えております。また、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが発表されておりますので、県としてもガイドラインを策定する予定です。

問 骨子案の中の教職員の多忙化、競技経験のない顧問が多くなる事が挙げられているが町はどの様に考えているのかお聞きします。

答 教育長 部活動は、顧問教員の積極的な取り組みによって支えられ、学校教育の一環として行われており、顧問に任せきりでなく、校長を中心に教員の負担軽減の視点に配慮しつつ、有意義な活動が行われていかなければならないと考えております。

問 学習指導要領についてお聞きします。常に生徒、児童の指導はこの指導要領に基づいて行われていると聞いています。学校は勉強する事だけでなく、部活動を通じて人間性を豊かにする事に目的があるのではないかと。この様な理解でよろしいですか。

答 教育長 指導要領では、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動は、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責

任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意することと示されております。

問 教員の勤務時間の在り方についてお聞きします。

答 教育長 町では県のスポーツエキスパート事業を活用し、現在5名の外部指導員を配置し、年間50回、1回2時間を目安にご協力いただいております。

また、教員の勤務時間把握のため、ICカードを使用した出勤時間の把握を、6月1日より開始しております。



学校部活動の様子（上里中HPより）



沓澤 幸子

問 給食無料化は今年度から半額スタートを

答 来年度の予算編成で検討したい

質問 1 公共施設について

問「長幡保育園、中央保育園の統廃合のあり方を検証し、子育て支援センターの併設等公共施設の統廃合を見直す」との町長公約の具体的な見直しと計画期間は。

答 現在、完成している基本設計に基づき、安全かつよりよい保育環境を確保するための点検、確認作業をしている。子育て支援センターは、試行的に各児童館に曜日を決めて実施し、今後、利用者のニーズを含め順次拡大していく。

問「健康増進センター」は、昨年度に検討ワーキンググループが設置されています。予防接種が個人接種に移行する中で、保健センターの稼働率と健康増進センターについての町長の考えは。

答 平成32年度までに、個別具体的な施設のあり方や再配置、維持保全の計画を策定する。保健センターの29年度利

用者は9138人、時間別の利用率は36%でした。

問 上里町公共施設等総合管理計画に続き、各施設の基礎資料となる施設カルテが作成され、公共施設の把握が出来るので、各小学校単位での住民説明会の開催を。

答 住民説明は町が展開するソフト事業の維持、充実を軸に、施設老朽化の更新等の適否や統廃合についての考え方を説明の上、ご理解いただく必要がある。町全体で説明会をした方がいいと思う。

質問 2 子育て支援について

問 小中学校給食費無料化は、全国で83市町村が実施。埼玉

県では滑川町、小鹿野町が実施し、県内10市町村で一部補助を含む負担の軽減があります。公約実現に今年度から半額補助でスタートしては。

答 子育て日本一の町を目指す一つとして、学校給食の無

償化を検討したい。1億円の経費計上と本庄市と調整を図る必要があり、来年度の予算編成で検討したい。



今年度中の給食費半額補助の検討を

問 兄弟姉妹の上の子が学校に上がると、第2子の保育料の2分の1軽減が外される現状をなくし、全ての第2子の軽減を。

答 議員指摘の第2子の保育料無償化に該当する児童は133人おり、年間約1300万円が見込まれる。国による幼児保育の無償化の調整があるので町としては負担軽減対策を推進したい。

問 厚生労働省は2018年度9月に向け「寡婦控除のみなし適用」の実施をします。

婚姻歴の有無で公的サービスに差が出るのは不公平です。「みなし適用」実施を。

答 税制面は、国の所得税法等の改正論議の結果を踏まえ対応したい。保育料を決定する際の「みなし寡婦控除適用」は、平成30年9月1日から施行する。

質問 3 交通手段について

問 利用しにくい「こむぎっち号」を利用しやすくしてほしいというご意見が沢山あります。せめてルート1日10往復、一回り30分以内の運行にするために、中心部はバス、郊外はタクシーを組み合わせるなどの方法はどうか。町長公約の見直しの具体的構想は。

答 今年度、協定期間後の運行形態を検討し、来年度中にはデマンドバス、デマンドタクシーなどの試験運行を行い、平成32年度で新たな運行形態を模索したい。



黛 浩之

問 学校などの給食費の無償化

答 来年度の予算で検討する

1 子育て支援の充実に ついて

問 小・中学校、幼稚園並びに保育園の給食費の無償化について。

答 子育て支援日本一の町を目指した中で、給食費無償化の小・中学校分につきましては、子育て世帯の経済的負担軽減の一つとして考えておりますが、経常経費の増額となりますことから、財政運営上すぐに導入ということは難しいと思いますが、財政状況などを総合的に勘案し、平成31年度の予算編成の中で検討していきたいと考えております。

また、上里町の学校給食は本市市と共同で提供しているために、本市市の児童・生徒と平等に負担することとなっておりますことから、負担の均衡という点から本市市との調整も必要であると考えております。

現在、国より幼児教育・保育の無償化が推進されている

中での幼稚園や保育園における給食費無償化につきましては、無償の基準の対象を施設とするのか児童とするのかにより、町が負担する金額や保護者負担の公平性に差異が生じることが懸念されており、幼稚園や保育園における給食費無償化は、これからの課題とさせていただきますと考えております。



幼稚園も含めた給食費無償化の検討を

2 弱い立場の人にやさしいまちづくり

問 こむぎっち号の巡回回数を増やすことで乗り継ぎ時間ロスを減らすことについて。

答 利用区間の実態を把握するために、昨年度、OD（オリジン・ディスティネーション）調査を実施し、その結果、上里町役場、イオンタウン、ウニクス、アグリパークなどのバス停は比較的多くの利用者がいる一方で、特に北部ルートと南部ルートのバス停の中には利用者の少ないバス停もあることが確認でき、これらのルートは便数が少なく、乗車時間も長いということが影響していると思われるため、今年度中にフリー降車制度を導入するなど、少しでも利用しやすい公共交通機関となるよう工夫していきたいと考えております。さらに、現状のこむぎっち号の課題を踏まえた上で、弱い立場の人にやさしい公共交通となるよう、現状のこむぎっち号にかわる一番よい形態について検討し、平成31年度には試行運転を行いたいと考えているところで

路線バスは住民の日常生活

を支える最も身近な公共交通機関であり、最善の運行形態はどこにあるのかを上里町地域公共交通活性化協議会の場において一つ一つの問題点の改善に取り組み、住民ニーズを反映した中で利便性を向上させ、町民が気軽に利用できる公共交通を提供できるように協議していきたいと思っております。



コミュニティバス「こむぎっち号」



仲井 静子

問 高齢者福祉に配慮した対応を

答 今年度、賀美小学校地区をモデル地区に決定

① ゴミ出しが困難な方への基本的な対応について

問 一人暮らし、あるいは介護に近い状態の高齢者が、自分でゴミを捨てに行けないケースがある。要介護になれば福祉サービスを使えるが、それに至る前の足腰が弱った高齢者にとって、悩みの一つです。今後、ゴミ出し困難者の増加が予想される。

答 ゴミ出しが出来ない方は、歩行困難や認知症が原因であることが多く、介護保険を申請し、ホームヘルパーサービスや家事援助サービスを利用。介護保険で自立と認定された方は、高齢者等生活応援隊を紹介している。但し有料500円となっている事からご不便をおかけしていると感じている。

問 内閣府の「高齢者の地域におけるライフスタイル」に関する調査では、高齢者の社会参加に対するニーズは高く、その内容として安否確認

の声掛け、話し相手や相談相手、ちょっとした買い物やゴミ出しなどの希望が多い。このような高齢者の社会参加は、地域社会にとっても互助をつくる大きな活力源と言える。

答 住民の支え合い活動は、高齢者が担い手になれば介護予防にもつながる為、状況に応じて、出来る範囲の支え合いに参加して頂けるよう声をかけをし、地域での役割を持ち、社会参加する機会を増やして頂きたいと考えている。

問 集積所の見直しについて。

答 ゴミ集積所の新設は、行政区が主体。町では設置基準を設けている。集積車の駐車場の確保・想定利用人数から算出した必要な面積の確保。収集所の構造等の基準を満たす事。

② 女性の笑顔と働く女性を支援する制度の充実について

問 世界経済フォーラムが毎年発表している男女平等の度

合い、ジェンダーギャップ、昨年は144か国中114位。政府は、女性の輝く社会の実現を旗印に、法律まで整備して女性の活躍推進をしているが世界標準で見ると、我が国の男女平等はまだ一向に進んでいないのが現実です。

答 町では、各分野で活躍する女性を多く登用できるように、国・県・地元住民の方・各種団体や事業所と連携し、人材発掘に努力したいと考えている。

③ 都市計画道路三田中通り線の今後の町の取り組みについて

として、地下浸透施設や貯留施設として利用できないか検討して行きたい。

問 排水工事から舗装工事まで一気に1280mをやるのではなくて、出来るところからでもよろしいですから、やって頂きたい。

答 三田中通り線については、私の政策の一つに挙げている。雨水排水対策が重要な課題で、それと合わせた道路計画を進め、一部、出来るところからやっていきたい。今、検討している段階。具体的なになりましたらご説明できると思います。



整備が望まれる三田中通り線



齊藤 崇

問

依然として人身事故率がワースト返上できないが

答

ワースト順位返上に向けた新たな取り組みを検討

1 交通事故対策について

問 町内において交通事故発生が特に多い七本木地区、金久保地区また見通しの良い交差点について、更にもう一歩踏み込んだ対策を考えるべきと思うが。

答 ハード面の対策としては、町内交通事故安全マップにより、事故多発箇所の確認を行い、警察、県土木事務所と連携して、交差点に反射材やカラー舗装などを実施。事故が多発している見通しの良い交差点については、路面標示やラバーポール、啓発看板の設置等を実施、今年3月、町から警察に強く要望していた一時停止標識の大型化が実現した。ソフト面での対策では広報紙や防災行政無線による広報・啓発の実施、本庄警察署、本庄地区安協など関連団体と連携を図り、街頭啓発等を実施している。

2 教育施設（上里中学校を除く）について

問 町内各小中学校の校舎棟（上里中学校を除く）において老朽化が進んでいます。築後35年から46年経過し、外壁に雨垂れの跡や黒ずみによる汚れが発生し、外観が悪い。計画性をもってリニューアルをしてはどうか。



外壁に雨垂れ跡などの汚れが目立つ長幡小学校

答 上里中学校を除く6校は建設後長期経過し、外壁以外にも経年劣化に伴う多くの不具合が各校で散見されており、今後は外壁のリニューアルや付属施設、電気、給排水

3 上里町の町長並びに議会議員一般選挙について

設備等の改修、雨漏り対策などを含めた大規模な改修工事を早期に行うことが望ましいと考える。改修工事の実施に当たっては、緊急性、必要性を考慮し、施工方法、優先順位等を見極め、財政状況も含め総合的な視点から計画的に進めていく必要があると考える。

問 今年4月に執行された上里町長選挙並びに町議会議員一般選挙において、過去最低の投票率となったが投票率を上げる施策は。

答 選挙管理委員長 告示日以降に広報車や町内の商業施設等、集客し易いところを重点的に巡回したり、商業施設の場内放送を依頼したり、横断幕、懸垂幕を掲示したりして対策を講じた。また、ポスターの掲示場についても通常よりも早めに設置し啓発に努

めたが結果は4ポイントも下がってしまった。

期日前投票を大型商業施設などで買物物についでにできれば投票率を上げるための有効な手段と考えているので、電算システムが対応可能になり次第、取り組んでいきたい。ネット投票についてはイニシャルコストがかかることやトラブルへの懸念が課題。投票率を上げるには、もっと簡単に投票できないか検討していきたい。

問 昨年の参議院議員の選挙から選挙年齢を18歳に引き下げたが逆に投票率は下がってしまった、教育面での対応は。

答 教育長 小中学校共学習指導要領社会科編において、公民的資質の基礎を養うため、小学校6学年では「私たちの生活と政治」中学校3学年で「人権と日本国憲法」など有権者としての政治参加の意義を学んでいる。今後も有権者としての意識の向上をめざしていきたい。



納谷 克俊

問 三田中通り線周辺の雨水排水対策を

答 実現、実施に向けて取り組んでまいりたい

1 道路整備と雨水排水対策について

問 都市計画道路三田中通り線は県道藤岡本庄線と三田久保原線とを結ぶ重要な幹線道路であり地元住民にとって貴重な生活道路でもあります。今後の整備計画について伺います。

答 住みやすい住環境の整備推進を実現するためには必要不可欠と認識しています。この地域では台風やゲリラ豪雨などにより道路冠水が発生しており、雨水排水対策なくして道路拡幅整備は出来ないものと考えています。

問 古新田四ツ谷線は一部歩道の未整備区間が残り、三田中通り線との交差点は暫定的な形状で信号機が設置されていません。また、三田久保原線と三田中通り線の交差点についても信号機設置の要望書も提出されており、大型商業施設の開業により交通量増加が予想されます。交差点改良

と信号機の設置を望みます。

答 県警との交差点協議の結果、現段階では信号機が設置出来る条件が整っていないとの判断になっています。歩道未整備区間の用地取得にあたって引き続きご理解を頂けるよう交渉を重ねます。今後、三田中通り線の整備時期や整備手法の確立など、明確に示せるよう努めてまいります。

問 三田中通り線付近では平成23年の台風12号により浸水被害が発生しました。また、短時間の激しい降水によって付近道路が冠水してしまいました。平成25年3月定例会で道路整備と併せた雨水浸透貯留施設の整備を提案し、検討するとの答弁でした。町長は如何お考えでしょうか。

答 浸透施設や貯留施設などによりリスク低減が必要と考えます。実現、実施に向け取り組んでいきたいと考えています。

2 防災・減災のまちづくりに関して



三田中通り線と古新田四ツ谷線の交差点

問 町として災害対策基本法第5条の責務を果たすためには自主防災組織の充実、住民の自発的な防災活動の促進を図る必要があります。自主防災組織の支援策等について如何お考えでしょうか。

答 23隊ある自衛消防隊を自主防災組織と位置付けていますが育成段階であります。4つの行政区で地区防災講習会を開催し、自主防災組織のモ

デル地区を作るきっかけにしたいと考えています。地域住民、行政区の理解と協力が不可欠ですので町としても出来る限りの支援をしていきたいと考えています。

問 専門性を有した防災の窓口を認定する地域防災マネージャー制度が創設され、自治体が採用、配置する経費の一部は特別交付税の対象となりました。この制度を活用して危機管理監を採用する事を提案します。

答 県内の状況を調査するとともに、制度の内容を精査し検討したいと考えています。

問 災害時における情報伝達手段の多様化という考えから防災行政無線や防災メール等と併せて臨時災害放送局の開設準備の検討を進めることを提案致します。

答 先進自治体の状況や災害事例等を参考に、広域圏での取り組みも視野に入れながら調査、研究していきたいと考えています。



高橋 茂雄

問 環境整備について

答

町民が集いやすい環境整備に引き続き取り組んでいく

1 公園遊具の撤去について

問 町全体で遊具の撤去が進んでいると見受けられますが、子供達の遊び場や思い出がなくなり、とても寂しく思っておりますが、町としてはその後に遊具等を置いてくれるのでしょうか。

答 公園遊具は、毎年専門の業者に委託し点検を実施しております。点検結果に基づき、修繕することで安全に利用できるかと判断された遊具は修繕を行い、劣化が著しく危険と判断された遊具については使用禁止として、順次撤去しております。

平成30年度は、長久保公園と金窪城址公園の木製遊具が腐食し、大変危険な状態であることから撤去を予定しております。

遊具撤去後の新たな設置については、地元住民の意見や利用状況などを考慮し、計画に対応してまいります。



金窪城址公園の木製遊具

問 街区公園等を他の地区に造るような大規模開発、または公園用地を生み出すような計画があるのでしょうか。

答 公園を他の地域に整備する計画はなく、既存公園のリニューアルなどにより、公園の整備を計画的に行ってまいります。

問 遊休地利用について、町内の道路端の残地の利用方法を伺いたい。

答 平成25年度に古新田四ツ谷線の三軒地区内に、通学児童やウォーキングをする方が

休息できるようなポケットパークを整備しました。このようなポケットパークは、たくさんの方に利用してもらうために、通学路や歩行者の多い道路に面した場所に整備することが望ましい。

2 交通対策について

問 自宅から学校までが通学路だと思っておりますが、そこでグリーンベルトの引き方について見直して延長するお考えがありますか。

答 グリーンベルトの本来の用途は、対面通行道路の中央線を抹消し単路とした際に、路側帯の幅を広くとり、歩行者の通行を明確化するためのものがございます。これを埼玉県が用地買取等で歩道整備がなかなか進まない県道において、歩道ができるまでの暫定的な対策として運用したところ、車両速度の低減が図られ、歩行者との離隔距離の増

大の効果を検証したことから、上里町においても要望に応じて設置している。

グリーンベルト設置箇所の見直しにつきましては、教育委員会と協議し、検討してまいります。

問 町道の傷んでいる補修の順番とそれによって事故が起きた場合の責任は。

答 地元住民から舗装の修繕要望があった場合も、現地の状況などから優先度の高い箇所から修繕を行う。

万が一、道路が原因で事故が起きてしまった場合、総合賠償保険で対応していく。

問 大雨による側溝のオーバーフローについて、毎回同じ場所のできるの対策は。

答 町道には側溝がない道路、片側のみ側溝がある道路、両側に側溝がある道路があります。側溝の設置については、地元から要望いただき、現地の状況を確認し、優先度の高い箇所から順次対応している。

前橋市で開催された第 69 回利根川治水同盟治水大会に参加して

8月3日、連日の猛暑の中、第69回利根川治水同盟治水大会が前橋市で開催され、所管する総務経済常任委員7名と新井議長、事務局の9名で参加しました。また、当日は前橋市六供清掃工場の延命化工事を視察しました。

○前橋市「六供清掃工場延命化工事について」

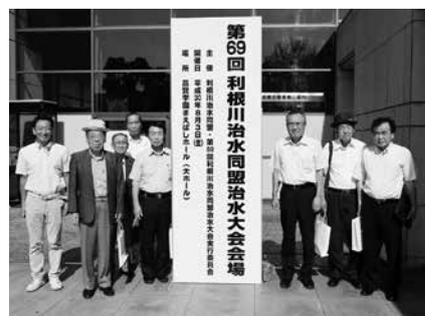
午前10時前橋市六供清掃工場に到着し、延命化工事の説明と工事現場の視察をしました。担当課長の説明では、①延命化工事の総工事費は約125億円で国の交付金54億円と不足分は市債、②工事期間は4年間、③延命化工事により処理能力と発電能力を向上させる、④延命化工事後は15年間稼働する予定。おおよそ以上の説明がありその後、工事現場の見学をして視察を終えました。



○治水大会

毎年8月に開催される利根川治水同盟治水大会は71年前のカスリーン台風で甚大な被害が出たことによって発足したもので、その当時の実感が薄い団塊の世代以降の我々には治水大会の意義が薄れているようです。しかし、7月の西日本豪雨など甚大な被害が発生している異常気象では、いつ・どこで・どんな被害があるかわからない状況です。まして上里町は利根川水系との関係が大変深い地域なので、この治水大会の重要性を再認識し大会に臨みました。

午後1時より大会会長の挨拶に始まり次回開催都市の茨城県常総市長の挨拶まで約2時間の69回大会も目指す「流域の治水・利水・環境事業の早期実現」に向けた要望を決議した大会でした。



7月2日・13日の両日、町内7つの小中学校を訪問いたしました

今回は文教厚生常任委員が新しく選任され、各委員とも、それぞれの問題意識を持って臨みました。その中で、上里中学校の新校舎は近代化され、環境が整った中で学力の向上やスポーツなど更なる飛躍が期待されるところであります。

○主なニュース

- ① 昨年度は交通安全子供自転車埼玉県大会で七本木小が団体優勝しましたが、今年度は神保原小が2位の成績は素晴らしく、町に明るいニュースを届けてくれました事に感謝申し上げます。
- ② 各学校とも、環境は異なるが子供たちの将来を考え、学力のみでなく、団体活動を通じて協調性を重視し、仲良く学校生活が出来るような取り組みが行われていました。我々委員会が教職員に望むことは、いじめなどが発生しない、明るい学校づくりであり、そのために町としても、また委員会としても積極的な提言を行っていきたくと考えています。



○要望事項

- ① 予算の関係もあると思うが、上里北中の校舎外壁は早急に改修を望む。
- ② 子供の健康管理には最大限の注意を払っていただきたい。事故が起きてからでは手遅れです。



7月19日 視察先：神奈川県二宮町・寒川町

○神奈川県二宮町議会

～議会基本条例の制定、議会報告会・意見交換会について～

二宮町議会では、平成25年に「議会基本条例」を制定し、議員全員参加による議会報告会&意見交換会を実施している。テーマは特に設定せず、以降定期的に開催し、議会報告会では基本的に予算・決算がメインとなっている。

「議会基本条例」制定にあたっては平成23年に基本条例制定特別委員会を立ち上げ、8人の委員で計17回の委員会を経て制定された。

そもそも「議会基本条例」とは、議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定めている条例で、議会運営をどのように行うかを定めたものである。

昨年に引き続き、議会改革について研鑽をつんできました。

上里町では「議会だより」を年4回全戸配布、「インターネット録画中継」を実施しているのが現状です。今回の研修を参考に、議会運営委員が主体となって前向きに検討・改善していきたいと思ひます。



○神奈川県寒川町議会

～タブレット端末の利用について～

導入前の課題としては、①議会資料の作成・収集・配布・差し替えなどが執行部・議会事務局ともに大きな負担であること、②分かりやすい資料作成による視認性の向上、③議員・議会事務局間の情報伝達の迅速化が挙げられた。これらをカバーする目的で、議会改革推進委員会の部会を立ち上げ、2015年2月にタブレット端末を導入した。

導入後は、年間約92万円のコスト削減、年間10万枚のペーパーレス化が見込まれ、今まで費やしていた時間が全て不要になり、執行部・議会事務局の職員ともに他の業務に時間を割けるようになった。

寒川町議会の年齢層は幅広く、また導入に当たっては議会で異論も多少あり、執行部も難色を示していたが、実際端末に触れ操作を実践して行くうちに慣れ、問題なく活用している。

上里町議会でも委員の入れ替えはあったものの昨年、今年と2回にわたりタブレット端末導入について研鑽をつんできました。これらを積み上げ、先進地に見習いコスト削減、ペーパーレス化に取り組むべきと感じました。



7月6日 神川町役場

児玉郡町村会会長である美里町長をはじめ、多くの来賓を迎え、児玉郡町議会議員前期研修会が開催されました。

研修は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を講師に招き、「住民から期待される議会」というテーマで講演をしていただきました。

初めに、豪雨や地震災害などで、議員の安否確認が危機管理上、速やかに実行可能な体制が、現在整備されているかを課題に挙げられました。すなわち、住民やインフラに想定外の大規模な損害を被った場合、緊急対策などを意思決定するため、町議会を開催しなければならないと言うわけであり、確かに災害時には、救援・医療・介護・戸籍、学校など、ありとあらゆる分野で町長の意思決定が必要となります。そして、法律上議会の同意が不可欠な場面が、多く発生するわけであり、今後は、実際に災害を経験した市町村の詳細な具体策を更に研究し、緊急時の議会の重責を全うせねばならないと思ひました。

次に、地方分権についてであります、平成12年4

月より、地方分権一括法が施行され、議会の役割も執行部の監視・チェックのみから、監視・チェックに加え、立法機関として提案・決定、民意の集約を行う議会へと変化が求められました。議員としても、従前の考えは捨て去り、民意に寄り沿った町づくりを第一に考え、社会構造の変遷に対応しつつ、また町議会として住民に必要な環境作りに、議員一人ひとりが今まで以上に努力していく必要があると感じました。

今回の講演を機に、今後の政策決定の場での議会の在り方について、もう一度初心に戻り、改めて研鑽を積んでまいりたいと思ひます。

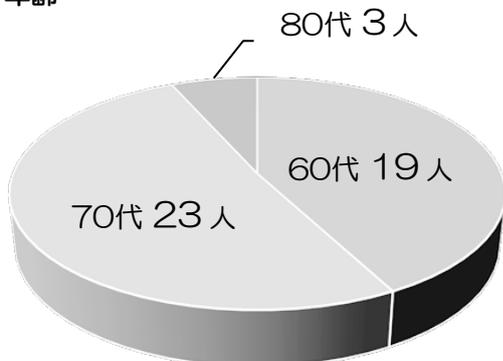


傍聴者82人中45人から回答がありました!

平成30年6月定例会で、傍聴にお越しいただいた82人の方を対象に、アンケートを実施させていただきました。自由意見を含め、15項目についてお答えをいただき、その一部を掲載いたします。

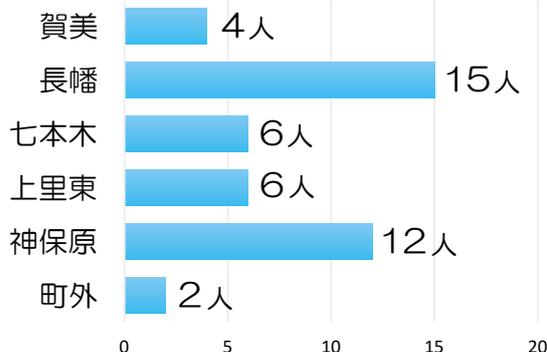
1. 性別 男 15人 女 21人 無回答 9人 **合計 45人**

2. 年齢



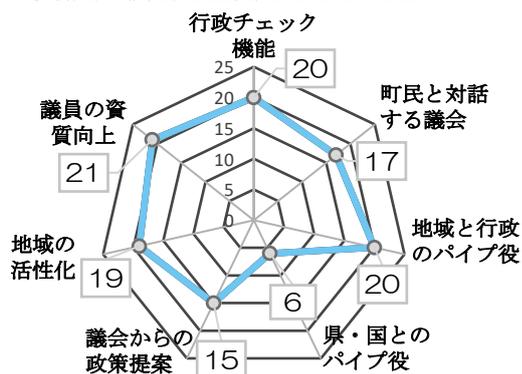
回答数45人

3. 居住地（小学校地区別）



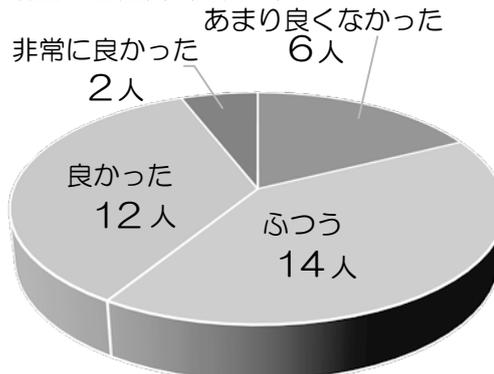
回答数45人

4. 町議員の役割で重要だと思うこと



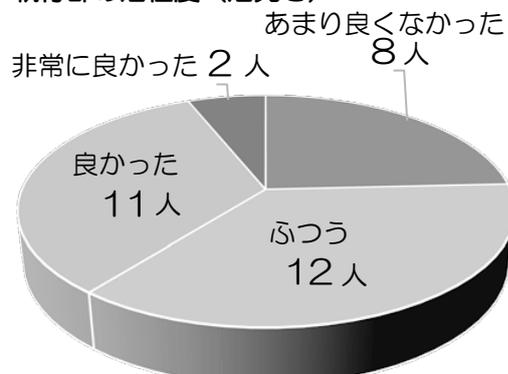
回答数43人(1人3項目選択)

5. 議会の活性化（活発さ）



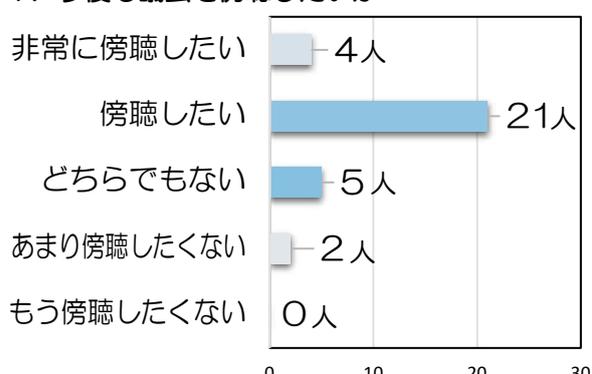
回答数34人

6. 執行部の活性化（活発さ）



回答数33人

7. 今後も議会を傍聴したいか



回答数32人

※掲載以外に、「職業」、「議会の傍聴回数」、「議員の質問時間」、「執行部（町長・教育長・課長など）の答弁時間」、「6月定例会で特に関心のあったこと」、「総合評価」、「傍聴場所」、「自由意見」についての質問にお答えいただきました。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。今後の議会運営の参考にさせていただきます。すべての結果については上里町ホームページをご覧ください。

議会日誌

6月

- 7日 6月定例会初日（開会、町長の行政報告、一般質問）
- 8日 一般質問
- 11日 全員協議会
議案審議（条例等）
議会運営委員会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
- 13日 全員協議会
6月定例会最終日（議案等審議、閉会）
- 27日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 28日 埼玉県町村議会議長会視察研修（～29日）

7月

- 2日 文教厚生常任委員会学校訪問
- 3日 臨時会
議会だより編集委員会
- 6日 児玉郡町議会議員前期研修会
- 9日 社会を明るくする運動講演会
- 13日 文教厚生常任委員会学校訪問
国道17号建設促進期成同盟総会
- 19日 議会運営委員会視察研修

8月

- 2日 明るい町づくり意見発表会
- 3日 利根川治水同盟治水大会
- 7日 議会だより編集委員会
- 8日 本庄上里学校給食組合議会
- 20日 議会運営委員会

9月定例会を傍聴しませんか！

定例会は、9月4日(火)に開会予定です。
なお、一般質問は4日(火)、5日(水)の2日間を予定しています。

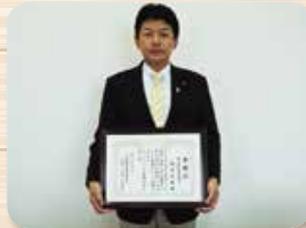
9月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(火)	猪岡 壽	①30年度予算について
		②山下町長の選挙公約について
		③中学生の学力向上について
4日(火)	飯塚 賢治	①地域包括ケアシステムについて
		②中小企業の設備投資を促す制度について
		③乳幼児健診における小児がんの早期発見について
		④不育症の周知や患者支援の推進について
		⑤新しい婚活支援事業について
4日(火)	仲井 静子	①貧困対策について
		②ごみの減量化対策とその取り組みについて
4日(火)	高橋 勝利	①高齢者対策について
		②下水道及び雨水対策について
		③鳥・神流川総合運動公園について
5日(水)	沓澤 幸子	①駅北の町づくりについて
		②教育問題について
5日(水)	齊藤 崇	①公民館長の選任について
		②観光協会について
		③ゴミの分別について
5日(水)	納谷 克俊	①上里町土地開発公社について
		①環境問題について
5日(水)	高橋 茂雄	②土地改良区未収金について

編集後記

6月7日・8日定例会の議員一般質問の傍聴には約80名の町民の皆様が傍聴くださいました。町長・議員の選挙後の初議会ということもあってか、傍聴者の45名より、アンケートにご協力いただきました。アンケート結果は15ページをご覧ください。
今後の議会活動に大いに参考になるご意見を沢山いただきました。誠に有難うございました。我々議会もこれからは町民皆様の意見・ご要望を参考に町発展のため活動していく所存ですので、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

児玉郡町議会議長会から表彰



7月6日に開催された、児玉郡町議会議長会主催の前期研修会において、優良議員及び自治功労者の表彰がありました。当議会から、納谷克俊議員が議員在職15年以上に亘り地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。また、納谷克俊議員・猪岡壽議員の両氏が議長会役員として地方自治並びに会の発展に寄与された功績により表彰されました。

議会だより
編集委員会
委員長 猪岡 壽
副委員長 高橋 勝利
委員 高橋 勝利
委員 沓澤 幸子
委員 齊藤 崇
委員 浩之

